# 分析調査・食品衛生検査
## お気軽にご相談ください

環保協の環境生活センター
㉒ 東部支所

新型コロナウイルス禍の一刻も早い終息を願いつつ、（一財）広島県環境保健協会東部支所（以下「東部支所」としします。）の紹介をさせていただきます。

東部支所は福山市山手町、「芦田川」の右岸土手沿い、新幹線と交差する辺りに位置します。土手からも3階建ての淡いブルーの建物を確認できます。屋上には10キロワットの太陽光発電パネルを設置し、発電した電力は施設で利用しています。

近年、全国的な異常気象や自然災害のニュースも多いですが、平成30年7月の豪雨では、芦田川沿いの浸水等の被害が全国報道されました。東部支所も床上まで浸水しましたが、災害対応訓練どおり組織的に対応し、検査事業を継続することができました。

東部支所職員は現在12名で、県東部エリアを中心に岡山・四国方面へも業務を展開しており、広島市内の本部との協働で、環境・生活・衛生分野の業務と公衆衛生推進協議会の活動支援を行っています。

最近はテレビ、ラジオでのCMの効果もあり、問い合わせも増えてきました。

飲料水・水質・土壌・大気などの分析調査、食品・衛生関連の検査など、お気軽にご相談ください。

経験豊富な「かんほきょう」の蓄積された技術・知識が、皆さまのお役に立てると思います。

皆さまが安全・安心で、豊かに暮らせる地域社会の実現に向け、より信頼される検査機関として、東部支所職員一同これからも研さんを積んでまいります。

（東部支所参事　佐藤道博）

受付カウンターには、検温カメラ、消毒液、太陽光発電モニターを設置。

WFRS 20th WORLD ROSE CONVENTION 2025 in FUKUYAMA
第20回 世界バラ会議福山大会
当協会はこの取り組みを応援しています

# コミュニケーションで地域活性化
## 経験が公衛協の活動現場に

環保協人①

協会には、事業を担う3つのセンターがあり、次の役割を担っています。

●地域活動支援センター

公益事業部門として、地域における健康づくりや環境づくりを支援

●健康科学センター

人間ドックや保健指導などの予防医学をとおして、県民の皆さまの健康長寿を実現

●環境生活センター

飲料水や食品、環境保全に関わる検査・分析をとおして住みよい環境づくりを実現

それぞれの事業は提供するサービスや対象が異なりますが、どの事業も職員の専門や資格が大きな強みです。

今回の連載では、いろいろな特技・資格を持った当協会の職員の紹介をとおして、当協会の各事業の専門性をご紹介します。

地域支援課／馬場田

第1回目は、地域活動支援センターの馬場田真主任です。

馬場田さんは、2008年4月に当協会に入職し、地域活動支援センターに配属され、現在に至るまで公衛協活動の支援業務に携わっています。

プライベートでも、地域活動に積極的に係わり、それが新聞やテレビで紹介されるなど大いに活躍されています。

馬場田さんは、広島市安佐北区大林地区で、3年前から大勢の仲間と共に、平成30年の豪雨災害で被災した田んぼを復旧し、休耕田で稲作を再開して酒米づくりに挑戦しています。この酒米づくりと環境の良さに魅力を感じ、2020年に広島市安芸区から安佐北区大林地区に家族6人で移住しました。特産品の「日本酒づくり」をキーワードに広がるコミュニケーションを地域活性化につなげようとしています。

2020年度は、ウンカが大発生し、米の収量が不十分で酒蔵に納めることはできませんでした。馬場田さんは落胆しましたが、今年度も仲間と酒米づくりに挑戦しています。

馬場田さんの地域での情熱的な取り組みは、当協会の地域活動が追い求める1つの理想の姿です。地域の活性化は、地域の特性に応じ多様な姿がありますが、公私にかかわらず、その根底には熱い想いがあります。地元での実践活動が経験となり、その経験が地域支援課のミッション達成や公衛協の現場活動のニーズに応える糧となり、当協会の活動に活かされています。

（総務課　森道史）

# さまざまな知識・技術の向上に
## 時勢に合わせたテーマで開催

「専門研修」は、公衆衛生推進委員や地球温暖化防止活動推進員の力量形成および専門的な知識・技術の習得の場として、市町・支部・地区単位の役員や、事務担当者、活動リーダーを対象に、環保協が毎年テーマを変えて開催しています。

令和3年度は、「広報・ツールづくりコース」に加えて、新たに「海辺教室指導者養成コース」「フレイル予防コース」を表のとおり開催します。

【海辺教室指導者養成コース】

現在、県内各地で展開されている水辺教室ですが、その歴史は昭和59年3月にまでさかのぼります。県内で初めての開催は、因島市（現尾道市）大浜海岸での「ふるさとの海辺教室」です。今でこそ河川で実施される水辺教室が主流となっていますが、スタートは海辺でした。

これまで、水辺教室指導者養成コースは何度か開催していますが、海辺教室の開催を狙ったものは初めてとなります。

「海ごみ」が注目されている昨今、ぜひ取り組んで欲しいテーマです。

【フレイル予防コース】

今年度、初めて企画したコースです。フレイルについての基礎知識を得て、公衛協のどの活動がフレイル予防になっているか、予防するために何をすればよいのか、今後公衛協に何ができるかを考えてもらいます。

また、身近な物を使った予防法を体験することで、話題づくり、住民への啓発に活用できるよう学びます。

令和2年度の広報・ツールづくりコース

【広報・ツールづくりコース】

広報・ツールづくりコースは、これまでと同様に実施します。紙媒体のチラシやたよりといった広報はもちろん、Facebookについても取り上げ、記者の養成も行っています。地域の話題を新鮮なうちに情報発信できるよう、体験を交えて学習します。

◇　◇

どの研修も、公衛協の推進委員に役立つ知識や技術を学べるものとなっています。事業の成り立ちを知っていて、新しい事業を企画・運営できる人材の育成に努めています。活力ある公衛協活動ができるよう、積極的にご参加ください。

（地域活動支援センター）

### ○　今後の研修予定　○

| | |
|---|---|
| 7/20（火） | 海辺教室指導者養成コース（三原市） |
| 7/29（木） | フレイル予防コース（広島市） |
| 7/30（金） | フレイル予防コース（福山市） |
| 8/5（木） | 広報・ツールづくりコース（チラシ編）（広島市） |
| 8/6（金） | 広報・ツールづくりコース（チラシ編）（福山市） |
| 8/7（土） | 広報・ツールづくりコース（SNS編）（広島市） |